

ごあいさつ



しずおかフィナンシャルグループ

静岡銀行

取締役社長 CEO 柴田 久



2025年3月期 営業の中間ご報告

SFG REPORT

2024 December

未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

原材料価格の高騰や人手不足の深刻化、気候変動問題への対応など、さまざまな要因によって社会経済環境は大きな変化の渦中にあり、地域やお客さまが抱える課題も複雑化・多様化しています。また、17年ぶりに日本銀行が実施した利上げにより「金利のある世界」が到来し、我々にとっても新たな局面を迎えています。

こうしたなか、当社では、「未来へつなく新たな価値を創造する課題解決型企業グループ」の実現をめざし、地域やお客さまの社会課題やニーズの解決による「社会価値創造と企業価値向上の両立」を推進しています。第1次中期経営計画の2年目である2024年度は、マテリアリティの解決に向けて描いた4つの基本戦略に沿って各施策を具現化し、スピード感をもって取り組んでいます。

今後も、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にしながら、お客さまの課題解決を通じた新たな価値を共創することで、地域の明るい未来への歩みを確かなものにしてまいりたいと考えています。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第1次中期経営計画 [期間2023～2027年度]

10年ビジョン

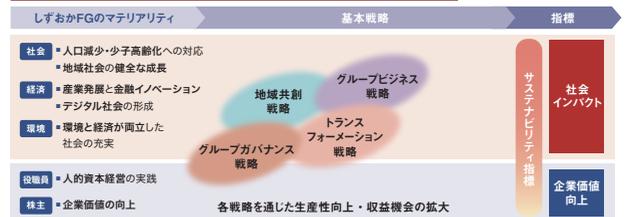
地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ

中計ビジョン

未来へつなく新たな価値を創造する課題解決型企業グループ

クロスオーバー

Xover
— 新時代を拓く

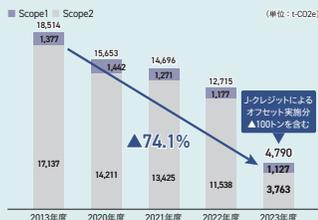


TOPIX ～マテリアリティ解決に向けた取り組み

環境と経済が両立した社会の充実

2030年度までに自社のカーボンニュートラル (Scope1,2) を達成する目標を設定し、地域に率先して省エネや再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。

また、地域全体での脱炭素化の実現に向け、GHG排出量算定ツール「しずおかGXサポート」の提供やサステナブルファイナンス等を積極的に推進しています。



静岡県および地域のNPOと連携して「生物多様性セミナー」を開催

地域一体でネイチャーポジティブへの取り組みを推進するため、生物多様性セミナーを開催しました。静岡県内企業や市町の担当者など延べ約140名が参加し、生物多様性保全・回復に係る理解を深めていただきました。

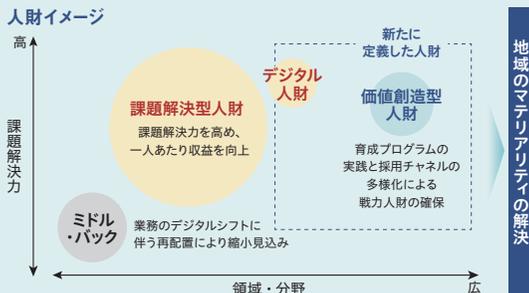


人的資本経営の実践

「役職員の夢・行動」と「基本理念・経営戦略」の一致に向けて

中計ビジョンおよびカルチャー&ウェルビーイング・イノベーションの実現に向け、タウンミーティングの継続やフルフラットコミュニケーションの実践に向けたワークショップの実施など、さまざまな施策に取り組んでいます。

2024年4月には、従来の課題解決能力の高度化に加え、新たな社会価値を創造することができる人財の実現に向け、「価値創造型人財」の育成プログラムを本格稼働し、地域のマテリアリティ解決に向け取り組んでいます。



産業発展と金融イノベーション

TECH BEAT Shizuoka 2024

静岡県内事業者と先端技術をもつスタートアップ企業をつなぎ、県内産業の活性化や新たなビジネスの創出をめざす「TECH BEAT Shizuoka 2024」を開催しました。

今回は、海外のスタートアップやスポーツチームなども加わり、過去最多の139社が出展しました。また、2019年に本取り組みを開始以来はじめて土曜日にも開催し、未来世代である児童・学生やその家族を対象とした体験コンテンツを提供しました。



- 開催日 2024年7月25～27日
- 参加企業 139社
- 来場者数 約8,000名

地域社会の健全な成長

文化振興を通じた豊かな地域社会の創造

国内外のアーティストの演奏をお楽しみいただく「しずぎんユーフォニア・コンサート」や、日本の伝統芸能である落語にふれ笑顔あふれるひと時をお届けする「しずぎんカルチャー・フォーラム(しずぎん寄席)」を開催したり、オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表する「富士山静岡交響楽団」の活動を支援しています。

このほかにも、地域の未来を担う「未来世代」向けに、金融リテラシーの向上を図る「金融経済教育」や、スポーツを通じた健全な育成支援などにも取り組んでいます。



富士山静岡交響楽団

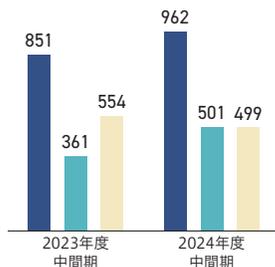


しずぎん寄席

中間業績ハイライト (2024年度中間期)

粗利益・業務純益・経常利益(連結)

■粗利益 ■業務純益 ■経常利益
(単位: 億円)



親会社株主に帰属する中間純利益(連結)

■中間純利益
(単位: 億円)



ROE(連結)

純資産基準 **5.7%**

前年同期比+1.4pt

株主資本基準 **7.2%**

前年同期比+1.9pt

OHR(連結)

50.7%

前年同期比 ▲8.2pt

貸出金残高(平残) 〈静岡銀行〉

10兆4,277 億円

前年同期比+2,991億円

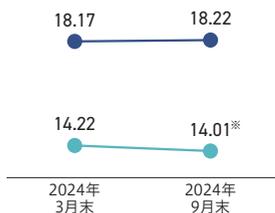
預金等残高(平残) 〈静岡銀行〉

12兆827 億円

前年同期比+1,797億円

自己資本比率(連結)

●CET1比率
●CET1比率(バーゼルIII最適化完全適用後)
(単位: %)



*バーゼルIII最適化完全適用後の資本フロア調整額等を考慮した試算値

格付

	しずおか フィナンシャル グループ	静岡 銀行
Moody's	-	A1
S&P Global Ratings	-	A-
格付投資 情報センター (R&I)	AA-	AA-

株式情報

株式情報 (2024年9月30日現在)

株主数	28,038名 (2024年3月31日比 2,436名増)
発行済株式の総数	580,129,069株
保有自己株式数	30,690,284株

株主還元状況

2027年度までに「配当性向50%以上」への累進的な引き上げをめざします。2024年度の1株当たり配当金(年間)は、2023年度から11円増配し50円を予定しています。

	中間	期末	年間配当金
2023年度	17円	22円	39円
2024年度	25円	25円(予定)	50円(予定)

株式事務のご案内

株式事務につきましては、以下をご覧ください。

<https://www.shizuoka-fg.co.jp/ir/stock-administration.html>



「統合報告書2024」のポイント動画を公開しました!

ステークホルダーとの価値共創に向けたしずおかフィナンシャルグループの取り組みを広く発信していくため、「統合報告書2024」のポイントをもとめた動画を作成しました。

動画は3部構成で、地域課題解決に向けた具体的な取り組みなどを、コンパクトにまとめてご紹介しています。しずおかフィナンシャルグループの活動に理解を深めていただくため、ぜひご覧ください。



統合報告書動画
特設WEBページ

- 内容
- VOL.1 しずおかフィナンシャルグループの価値創造プロセス、第1次中期経営計画の概要
 - VOL.2 地域課題解決に向けた特徴的な取り組み
 - VOL.3 ステークホルダーとともに成長する好循環の実現、人的資本経営の実現に向けた取り組み



「統合報告書2024」もご覧ください

2024年7月、「統合報告書2024」を発行しました。

本誌では、グループの基本理念「地域とともに夢を豊かさ広げます。」のもと、地域産業の活性化、脱炭素化、人的資本経営の実践など、地域の課題解決支援を通じて持続可能な社会の実現をめざす多様な取り組みをご紹介しています。

統合報告書
WEBページ

